

**JFE 扇島火力発電所更新計画  
環境影響評価方法書についての  
意見の概要と事業者の見解**

平成 27 年 5 月

**JFE スチール株式会社**

# 目 次

第1章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧 .....	1
1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧 .....	1
(1) 公告の日 .....	1
(2) 公告の方法 .....	1
(3) 縦覧場所 .....	1
(4) 縦覧期間 .....	3
(5) 縦覧者数 .....	3
2. 環境影響評価方法書についての説明会の開催 .....	3
3. 環境影響評価方法書についての意見の把握 .....	4
(1) 意見書の提出期間 .....	4
(2) 意見書の提出方法 .....	4
(3) 意見書の提出状況 .....	4
第2章 環境影響評価方法書について提出された環境の保全の見地からの意見の概要と これに対する事業者の見解 .....	11

## 第1章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

### 1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

「環境影響評価法」第7条の規定に基づき、当社は、環境の保全の見地からの意見を求めるため、環境影響評価方法書（以下、「方法書」という。）を作成した旨及びその他事項を公告し、方法書及び要約書を公告の日から起算して1月間の縦覧に供するとともに、インターネットの利用により公表した。

#### (1) 公告の日

平成27年3月10日（火）

#### (2) 公告の方法

##### ① 日刊新聞による公告

平成27年3月10日（火）付けで、以下の日刊新聞紙に「公告」を掲載した。

（別紙1参照）

- ・朝日新聞（朝刊29面、神奈川県版、朝刊27面、都内南部版）
- ・読売新聞（朝刊33面、神奈川県版、朝刊34面、都内版）
- ・毎日新聞（朝刊27面、神奈川県版、朝刊27面、都内版）
- ・日本経済新聞（朝刊35面、神奈川県版、朝刊35面、都内版）
- ・東京新聞（朝刊27面、都内版）
- ・神奈川新聞（朝刊26面、全県版）

##### ② 上記の公告に加え以下の「お知らせ」を実施した。

（別紙2参照）

- ・当社ホームページに平成27年3月10日（火）から掲載

<http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/keihin/env-powerplant.html>

#### (3) 縦覧場所

関係地域の自治体庁舎42ヶ所、当社施設1ヶ所の計43ヶ所にて縦覧を実施した。また、当社ホームページにおいてインターネットの利用により公表した。

##### ① 自治体庁舎

- ・神奈川県環境農政局環境部環境計画課（横浜市中区日本大通1）
- ・神奈川県かながわ県民センター（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）
- ・神奈川県川崎県民センター（川崎市幸区堀川町580）
- ・神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター（神奈川県横須賀市日の出町2-9-19）
- ・神奈川県県央地域県政総合センター（神奈川県厚木市水引2-3-1）
- ・神奈川県湘南地域県政総合センター（神奈川県平塚市西八幡1-3-1）
- ・神奈川県県西地域県政総合センター（神奈川県小田原市荻窪350-1）
- ・川崎市環境局環境評価室（川崎市川崎区宮本町1）
- ・川崎市川崎区役所（川崎市川崎区東田町8）

- ・川崎市川崎区役所大師支所（川崎市川崎区東門前 2-1-1）
- ・川崎市川崎区役所田島支所（川崎市川崎区鋼管通 2-3-7）
- ・川崎市幸区役所（川崎市幸区戸手本町 1-11-1）
- ・川崎市幸区役所日吉出張所（川崎市幸区南加瀬 1-7-17）
- ・川崎市中原区役所（川崎市中原区小杉町 3-245）
- ・横浜市環境創造局政策調整部環境影響評価課（横浜市中区真砂町 2-22）
- ・横浜市鶴見区役所（横浜市鶴見区鶴見中央 3-20-1）
- ・横浜市神奈川区役所（横浜市神奈川区広台太田町 3-8）
- ・横浜市西区役所（横浜市西区中央 1-5-10）
- ・横浜市中区役所（横浜市中区日本大通 35）
- ・横浜市南区役所（横浜市南区花之木町 3-48-1）
- ・横浜市港北区役所（横浜市港北区大豆戸町 26-1）
- ・東京都環境局都市地球環境部環境都市づくり課  
（東京都新宿区西新宿 2-8-1 第 2 本庁舎 16 階）
- ・東京都環境局多摩環境事務所（東京都立川市錦町 4-6-3）
- ・大田区環境清掃部環境保全課（大田区蒲田 5-13-14）
- ・大田区大森東特別出張所（大田区大森南 4-9-1）
- ・大田区大森西特別出張所（大田区大森西 2-3-3）
- ・大田区入新井特別出張所（大田区大森北 1-10-14）
- ・大田区馬込特別出張所（大田区中馬込 3-25-5）
- ・大田区池上特別出張所（大田区池上 1-29-6）
- ・大田区新井宿特別出張所（大田区中央 1-21-6）
- ・大田区嶺町特別出張所（大田区田園調布本町 7-1）
- ・大田区田園調布特別出張所（大田区田園調布 2-20-1）
- ・大田区鵜の木特別出張所（大田区南久が原 2-30-5）
- ・大田区久が原特別出張所（大田区久が原 4-12-10）
- ・大田区雪谷特別出張所（大田区東雪谷 3-6-2）
- ・大田区千束特別出張所（大田区南千束 2-16-19）
- ・大田区六郷特別出張所（大田区仲六郷 2-42-2）
- ・大田区矢口特別出張所（大田区矢口 2-21-14）
- ・大田区蒲田東特別出張所（大田区蒲田本町 2-1-1）
- ・大田区蒲田西特別出張所（大田区西蒲田 7-12-7）
- ・大田区糎谷特別出張所（大田区西糎谷 2-14-13）
- ・大田区羽田特別出張所（大田区羽田 1-16-14）

## ②当社施設

- ・ J F E スチール株式会社東日本製鉄所（京浜地区）  
（川崎市川崎区南渡田町 1-1 京浜ビル 1F）

### ③インターネットの利用による公表

- ・当社ホームページ上における下記のウェブサイトで方法書及び要約書を公表した。

<http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/keihin/env-powerplant.html>

(別紙 2 参照)

### (4) 縦覧期間

縦覧期間は、平成 27 年 3 月 10 日 (火) から平成 27 年 4 月 9 日 (木) (土曜日・日曜日・祝日を除く)、縦覧時間は、午前 9 時から午後 5 時までとした (自治体の縦覧場所は、開庁日時による)。[閲覧は、4 月 23 日 (木) まで実施]

なお、インターネットの利用による公表については、平成 27 年 3 月 10 日 (火) から平成 27 年 4 月 23 日 (木) まで閲覧可能とした。

### (5) 縦覧者数

①縦覧者確認簿記載者数	33 名
(内訳)	
・神奈川県施設	6 名
・川崎市施設	19 名
・横浜市施設	0 名
・東京都施設	5 名
・大田区施設	3 名
・J F E スチール株式会社東日本製鉄所	0 名

②方法書及び要約書を公表したウェブサイトへのアクセス数：756 回

## 2. 環境影響評価方法書についての説明会の開催

「環境影響評価法」第 7 条の 2 の規定に基づき、方法書の記載事項を周知するための説明会を開催した。

説明会の開催の公告は、方法書の縦覧等に関する公告と同時に行った。

開催日時	開催場所	来場者数
平成 27 年 3 月 20 日 (金) 19 時から 21 時まで	大森スポーツセンター	13 名
平成 27 年 3 月 24 日 (火) 19 時から 21 時まで	サンピアンかわさき (川崎市立労働会館)	18 名
平成 27 年 3 月 25 日 (水) 19 時から 21 時まで	横浜市鶴見公会堂	16 名
平成 27 年 3 月 28 日 (土) 14 時 30 分から 16 時 30 分まで	サンピアンかわさき (川崎市立労働会館)	11 名

### 3. 環境影響評価方法書についての意見の把握

「環境影響評価法」第8条の規定に基づき、環境の保全の見地からの意見を有する者の意見書の提出を受け付けた。

#### (1) 意見書の提出期間

平成27年3月10日（火）から平成27年4月23日（木）（縦覧期間及びその後2週間）まで受け付けた。なお、郵送受付は当日必着とした。

#### (2) 意見書の提出方法

縦覧場所に備え付けの意見用紙（別紙3参照）などにより、次の方法で意見を受け付けた。

①当社への郵送による書面の提出（縦覧期間及びその後2週間）

#### (3) 意見書の提出状況

提出された意見書の総数は1名1通（意見の総数：7件）であった。

日刊新聞紙に掲載した公告内容  
(朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、東京新聞、神奈川新聞)

平成 27 年 3 月 10 日 (火) 掲載

**お知らせ**

環境影響評価法に基づき、「JFE福島火力発電所更新計画」環境影響評価方法書(以下、「方法書」という。)の作成及び説明会の開催について、次のとおり公告いたします。

JFEスチール株式会社  
代表取締役社長 林田英治

【事業者の名称、代表者の氏名及びまたる事務所の所在地】名称：JFEスチール株式会社／代表者：代表取締役社長 林田英治／所在地：東京都千代田区内幸町二丁目三丁目

【対象事業の名称、種類及び規模】名称：JFE福島火力発電所更新計画／種類：ガスタービン及び汽力(コッパインド)サイクル発電方式／規模：出力二十五万キロワット

【対象事業が実施されるべき区域】神奈川県川崎市川崎区扇島一帯地

【対象事業に係る環境影響を受ける範囲であると認められる地域の範囲】神奈川県川崎市川崎区／幸区／中原区、横浜市鶴見区／神奈川区／西区／南区／港北区、東京都大田区

【方法書の閲覧の場所、期間及び時間等】

一、閲覧場所：神奈川県環境政策局環境政策課(神奈川県横浜市中央区日本大通二丁目)／神奈川県かながわ環境センター(神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町二丁目二四一)／神奈川県川崎区環境センター(神奈川県川崎市川崎区扇島五八〇)／横浜三浦地域環境政策センター(神奈川県横浜市日野出町二丁目一九一九)／県央地域環境政策センター(神奈川県厚木市西八幡二丁目二二)／湘南地域環境政策センター(神奈川県小田原市鉄線三三〇)／川崎市環境局環境政策室(川崎区宮本町二丁目)／川崎区役所(川崎区東田町八)／大田支所(川崎区東門前二丁目一)／田島支所(川崎区綱管通二丁目三)／幸区役所(幸区戸手本町一丁目一)／日吉出張所(幸区南加瀬二丁目一七)／中原区役所(中原区小杉町三二四五)／横浜環境創造局政策課環境政策管理係(中区真砂町二丁目二)／鶴見区役所(鶴見区鶴見中央三二〇)／神奈川区役所(神奈川区広台本町三三)／西区役所(西区中央一五二)／幸区役所(中区日本大通三五)／南区役所(南区花之木町三二四八)／港北区役所(港北区大宮町二六)／東京都環境局都市地球環境部環境都市づくり課(新宿区四ッ宿二丁目一第二本庁舎十六階)／東京都環境局多摩環境事務所(立川市第町四一六一三立川合同庁舎)／大田区環境情報部環境保全課(大田区瀬田五丁目一三)／他十八特別出張所/JFEスチール株式会社、東日本製鉄所(京浜地区)(川崎区南瀬田町一)京浜ビル一階

二、閲覧期間：平成二十七年三月十日(火)から平成二十七年四月九日(木)まで、但し、閉庁日は除く。当社の業務については、土曜日、日曜日、祝日は除く。なお、四月二十三日(木)まで閲覧できます。

三、閲覧時間：午前九時から午後五時まで。

なお、方法書の電子版は、当社ホームページにおいて平成二十七年三月十日(火)から四月二十三日(木)までご覧いただけます。

【意見書の提出】方法書について無効の保全の見地からご意見をもちの方は、書面により提出することができます。提出の際は、縦書きに添え付けの用紙、または当社ホームページに掲載の用紙をご利用下さい。

【意見書の提出期限及び提出先その他意見書の提出に必要な事項】

一、提出期限：平成二十七年四月二十三日(木)必着

二、提出先：下記(郵送・郵便番号二〇一〇八六八)神奈川県川崎市川崎区扇島一帯地 JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(京浜地区)総務部総務室宛

三、意見書の提出に必要な事項

①氏名及び住所(法人その他の団体にあつては、その名称、代表者の氏名及びまたる事務所の所在地)

②意見書の提出の対象である方法書の名称(「JFE福島火力発電所更新計画 環境影響評価方法書」と記載して下さい)

③方法書についての環境の保全の見地からの意見(日本語により、意見の理由を含めて記載して下さい)

なお、意見書に記載された個人情報等は、本件についてのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

【意見書を提出する日時及び場所】

一、三月二十日(金) 十九時〇〇分～二十一時〇〇分／大森スポーツセンター(大田区大森本町二丁目一五)

二、三月二十四日(火) 十九時〇〇分～二十一時〇〇分／サンピアなかみさき(川崎市立労働会館)(川崎市川崎区富士見二丁目一五)

三、三月二十五日(水) 十九時〇〇分～二十一時〇〇分／横浜市鶴見公会堂(横浜市鶴見区巻町二丁目一) フォーガー 六・七階

四、三月二十八日(土) 十四時三十分～十六時三十分／サンピアなかみさき(川崎市立労働会館)(川崎市川崎区富士見二丁目一五)

【お問い合わせ先】JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(京浜地区)総務部総務室 電話〇四四一三二二一、二一九/ただし、平成二十七年三月十日(火)から平成二十七年四月二十三日(木)まで

当社ホームページに掲載したお知らせの内容



JFE スチール 株式会社

検索



環境への取り組み

平成27年3月10日  
JFEスチール株式会社

### 「JFE扇島火力発電所更新計画 環境影響評価方法書」の 送付および縦覧開始について

当社は、平成27年3月10日、環境影響評価法に基づき、「JFE扇島火力発電所更新計画 環境影響評価方法書」を経済産業大臣に届出するとともに、神奈川県知事、川崎市長、横浜市長、東京都知事、大田区長へ送付いたしました。

また、環境影響評価法に基づき、平成27年3月10日（火）より、本方法書の縦覧を以下のとおり行います。

#### ■発電所の計画概要

名称 : JFE扇島火力発電所更新計画  
種類 : 既設1号機を汽力から、ガスタービン及び汽力(コンバインドサイクル発電方式)へ更新  
規模 : 25万kW級  
燃料 : 副生ガス(高炉ガス、コークス炉ガス及び転炉ガス)、都市ガス  
所在地 : 神奈川県川崎市川崎区扇島1番地1  
(JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(京浜地区)敷地内)  
運転開始時期 : 平成31年10月(予定)

#### ■環境影響評価方法書の縦覧について

##### 縦覧場所

縦覧場所	所在地
神奈川県環境農政局環境部環境計画課	横浜市中区日本大通1
神奈川県かながわ県民センター	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
神奈川県川崎県民センター	川崎市幸区堀川町580
神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター	神奈川県横須賀市日の出町2-9-19
神奈川県県央地域県政総合センター	神奈川県厚木市水引2-3-1
神奈川県湘南地域県政総合センター	神奈川県平塚市西八幡1-3-1
神奈川県県西地域県政総合センター	神奈川県小田原市菟窪350-1
川崎市環境局環境評価室	川崎市川崎区宮本町1
川崎市川崎区役所	川崎市川崎区東田町8
川崎市川崎区役所大師支所	川崎市川崎区東門前2-1-1
川崎市川崎区役所田島支所	川崎市川崎区綱管通2-3-7
川崎市幸区役所	川崎市幸区戸手本町1-11-1
川崎市幸区役所日吉出張所	川崎市幸区南加瀬1-7-17



川崎市中原区役所	川崎市中原区小杉町3-245
横浜市環境創造局政策調整部 環境影響評価課	横浜市中区真砂町2-22
横浜市鶴見区役所	横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1
横浜市神奈川区役所	横浜市神奈川区広台太田町3-8
横浜市西区役所	横浜市西区中央1-5-10
横浜市中区役所	横浜市中区日本大通35
横浜市南区役所	横浜市南区花之木町3-48-1
横浜市港北区役所	横浜市港北区大豆戸町26-1
東京都環境局都市地球環境部 環境都市づくり課	東京都新宿区西新宿2-8-1 第2本庁舎16階
東京都環境局多摩環境事務所	東京都立川市錦町4-6-3
大田区環境清掃部環境保全課	大田区蒲田5-13-14
大田区大森東特別出張所	大田区大森南4-9-1
大田区大森西特別出張所	大田区大森西2-3-3
大田区入新井特別出張所	大田区大森北1-10-14
大田区馬込特別出張所	大田区中馬込3-25-5
大田区池上特別出張所	大田区池上1-29-6
大田区新井宿特別出張所	大田区中央1-21-6
大田区嶺町特別出張所	大田区田園調布本町7-1
大田区田園調布特別出張所	大田区田園調布2-20-1
大田区鶴の木特別出張所	大田区南久が原2-30-5
大田区久が原特別出張所	大田区久が原4-12-10
大田区雪谷特別出張所	大田区東雪谷3-6-2
大田区千束特別出張所	大田区南千束2-16-19
大田区六郷特別出張所	大田区中六郷2-42-2
大田区矢口特別出張所	大田区矢口2-21-14
大田区蒲田東特別出張所	大田区蒲田本町2-1-1
大田区蒲田西特別出張所	大田区西蒲田7-12-7
大田区糀谷特別出張所	大田区西糀谷2-14-13
大田区羽田特別出張所	大田区羽田1-16-14
JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(京浜地区)	川崎市川崎区南渡田町1-1京浜ビル1F

#### 縦覧期間

平成27年3月10日(火)～4月9日(木)まで

(縦覧場所および本HP上の図書は意見募集の提出期限の4月23日(木)まで閲覧できます。)

関係自治体庁舎については、閉庁日を除きます。

#### 縦覧時間

午前9時～午後5時

#### ホームページでの公表

方法書及びその要約書は、当社ホームページにおいても平成27年3月10日(火)から平成27年4

月23日(木)までご覧頂けます。

下記リンクより、方法書及び要約書の閲覧ができます。(閲覧のみ可能、ダウンロード不可)

#### ◇環境影響評価法にもとづく環境影響評価方法書のあらし

📄 環境影響評価方法書のあらし(1.06MB)

#### ◇環境影響評価法にもとづく環境影響評価方法書

- 📄 環境影響評価方法書 表紙・目次(0.19MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第1章(0.39MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第2章(1.49MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第3章①(1.98MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第3章②(1.06MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第3章③(1.65MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第3章④(1.72MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第4章(1.62MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第5章(0.36MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第6章(1.72MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第7章(1.31MB)
- 📄 環境影響評価方法書 第8章(0.47MB)

#### ◇環境影響評価法にもとづく環境影響評価方法書 要約書

- 📄 環境影響評価方法書 要約書 表紙・目次(0.16MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第1章(0.39MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第2章(1.48MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第3章(0.55MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第4章(1.61MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第5章(0.22MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第6章(1.72MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第7章(0.39MB)
- 📄 環境影響評価方法書 要約書 第8章(0.47MB)

#### ◇川崎市環境影響評価に関する条例にもとづく環境影響評価方法書

📄 環境影響評価方法書 法対象条例環境影響評価方法書のあらし(1.18MB)

#### ◇川崎市環境影響評価に関する条例にもとづく環境影響評価方法書

📄 環境影響評価方法書 法対象条例環境影響評価方法書 表紙・目次(0.93MB)

※ 環境影響評価方法書 第1章～8章までは、  
環境影響評価法にもとづく環境影響評価方法書と同じ

📄 法対象条例環境影響評価方法書(0.93MB)

#### ◇川崎市環境影響評価に関する条例にもとづく環境影響評価方法書 要約書

📄 環境影響評価方法書 法対象条例環境影響評価方法書 要約書 表紙・目次(0.42MB)

※ 環境影響評価方法書 要約書 第1章～8章までは、  
環境影響評価法にもとづく環境影響評価方法書と同じ

📄 法対象条例環境影響評価方法書 要約書(0.93MB)

#### 住民説明会の開催

- (1) 日時:3月20日(金)19:00～21:00 場所:大森スポーツセンター
- (2) 日時:3月24日(火)19:00～21:00 場所:サンピアンかわさき(川崎市立労働会館)
- (3) 日時:3月25日(水)19:00～21:00 場所:横浜市鶴見公会堂
- (4) 日時:3月28日(土)14:30～16:30 場所:サンピアンかわさき(川崎市立労働会館)

#### 意見の提出

方法書について、環境の保全の見地からご意見をお持ちの方は、弊社宛に書面（添付の意見書用紙）にて意見書をお寄せください。

(1) 意見書の記載事項

- ・ 氏名及び住所（法人その他団体にあつては、その名称、代表者の氏名および主たる事務所の所在地）
- ・ 意見書の提出の対象である方法書の名称
- ・ 本方法書についての環境の保全の見地からの意見（日本語により、意見の理由を含めて記載してください）

(2) 意見書の提出期限


平成27年4月23日（木）まで〔必着〕

(3) 意見書の提出先

〒210-0868

神奈川県川崎市川崎区扇島1番地1

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）総務部総務室 宛

 [意見書用紙のダウンロード](#)

 [意見書用紙の作成要領 ダウンロード](#)

### お問い合わせ先

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）総務部総務室

TEL:044-322-1119

（土曜日、日曜日、祝日を除く、午前9時から午後5時まで）

以上

 [戻る](#)

## 意見書用紙

(No. )	
「JFE扇島火力発電所更新計画 環境影響評価方法書」に対する意見書	
平成27年 月 日	
〒 -	
ご住所 _____	
ご氏名 _____	
連絡先 _____	
環境影響評価法第8条第1項の規定に基づき、環境の保全の見地からの意見を、次のとおり提出する。	
意見の項目	意見の内容及びその理由
<p><b>意見の項目の例</b>          事業計画、環境全般、大気質、騒音・振動、水環境、動物・植物、景観、人と自然との触れ合い活動の場、廃棄物、その他</p> <p><b>【備考】</b></p> <p>1. 意見書：環境影響評価法施行規則第4条の規定により、氏名及び住所（法人その他の団体にあってはその名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）は必ずご記入願います。（日本語で記入をお願いします。）          なお、1枚に記載しきれない場合は、複数枚ご使用ください。          その際は、意見書上の（No. ）にページをふり、2枚目以降にも氏名及び住所をご記入願います。</p> <p>2. 提出先：【平成27年 3月10日（火）から 4月23日（木）まで】          〒210-0868 川崎市川崎区扇島1番地1          JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）総務部 総務室宛</p> <p>3. 提出期限：平成27年 4月23日（木）【必着】</p> <p><b>【注】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご記入いただいた個人情報は、環境影響評価法に基づく手続きだけに使用し、他の目的に使用することはありません。</li> <li>・弊社では、個人情報保護の重要性を十分認識し、ご記入頂いた個人情報は、適正に取り扱うこととしております。なお、ご記入いただいた意見内容に限っては、公表する可能性がありますので、予めご了承ください。</li> </ul>	

## 第2章 環境影響評価方法書について提出された環境の保全の見地からの意見の概要と これに対する事業者の見解

「環境影響評価法」第8条第1項の規定に基づいて、事業者に対して意見書の提出により述べられた環境の保全の見地からの意見は7件であった。

「環境影響評価法」第9条及び「電気事業法」第46条の6第1項の規定に基づく、環境影響評価方法書についての意見の概要と事業者の見解は、次のとおりである。

なお、提出された意見については、原文のまま記載した。

環境影響評価方法書についての意見の概要と事業者の見解

1. 事業計画

	意見の概要	事業者の見解
1	<p>過去の歴史の反省の上に立つのなら、開発行為者(企業)は単に法令や規則を守っていればよいというものではない。深刻な公害と環境破壊、そして公害被害者を発生させたものとして、公害と環境負荷となる原因物質の排出については、限りなくゼロに近づけなければならない。</p>	<p>JFE 扇島火力発電所は、製鉄所内で発生する副生ガスを主燃料として有効利用し発電を行なっています。</p> <p>新1号機は、補助燃料として重油を使用しないため、硫黄酸化物が現状より低減できます。低NOx燃焼器と排煙脱硝装置を採用するため、窒素酸化物が低減できます。また、燃料系統に湿式の電気集じん機を設置し、重油を使わないガス専焼とするため、ばいじんを低減できます。</p> <p>運転開始後も、各設備の適切な運転管理と維持管理を行ないます。</p> <p>以上のことから、今回のJFE 扇島火力発電所更新計画は大気環境負荷の低減につながるものと考えております。</p>
2	<p>余剰電力を売電することが、発電所更新の目的の一つと考えているのなら問題だ。もしそうなら、副生ガス・都市ガスを燃料とするのではなく自然エネルギーを用いて実施すべきである。</p>	<p>JFE 扇島火力発電所では、製鉄所で発生する副生ガスのうち製鉄所内の加熱炉などで使用した残余の副生ガスを有効利用しています。操業の状況によっては、電力を購入したり、余剰となる場面もありますが、発電した電力は、主に事業所内の電力として使用します。</p> <p>更新の目的は長年使用してきた発電設備の老朽化対策となっております。</p>

## 2. 大気質

	意見の概要	事業者の見解
3	<p>浮遊粒子状物質(SPM)について、「ほとんど排出しない」として排出量も示していない。排出量と、これが環境に影響(被害)していないことを示したうえで、評価項目選定の判断をすべきである。</p>	<p>浮遊粒子状物質のもととなる排煙中のばいじんについては、方法書 p2-16 (p17) に記載のとおり、燃料系統に湿式の電気集じん機を設置するため、<math>0.1\text{mg}/\text{m}^3_{\text{N}}</math> 未満となり、既設の <math>30\text{mg}/\text{m}^3_{\text{N}}</math> と比べて低いものとなっています。</p> <p>このように、ばいじんをほとんど排出しないことから環境影響評価項目に選定することは考えていません。</p>
4	<p>評価項目に、環境基準が定められている微小粒子状物質(PM2.5)を、意図的に除外しているのであればとても容認できない。現状の大気汚染物質の中で、これがもっとも有力な公害健康被害原因物質と見られているからである。マニュアルとして確立されていない、というのは理由にならない。</p>	<p>新1号機は、PM2.5の一次粒子(ばいじん)をほとんど排出せず、PM2.5の二次生成粒子の前駆物質となる硫黄酸化物や窒素酸化物の排出量も現状より大幅に低減する計画であることから環境影響評価項目に選定することは考えていません。</p>
5	<p>窒素酸化物(二酸化窒素)の評価基準として、日平均値 <math>0.06\text{ppm}</math> の数値を使用していることも容認できない。同じ環境基準値の日平均値 <math>0.04\text{ppm}</math> を使用すべきである。何故なら、日平均値 <math>0.06\text{ppm}</math> の数値は科学的根拠がなく、県や市は目標として日平均値 <math>0.04\text{ppm}</math>(年平均値 <math>0.02\text{ppm}</math>) の達成を目指しているからだ。</p>	<p>環境基準は、「人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準」として定められていますので、環境影響評価にあたっては同基準を指標とすることで考えています。</p> <p>また、「環境基準は、現に得られる限りの科学的知見を基礎として定められているもの」と認識しています。</p> <p>なお、二酸化窒素の環境基準は、「1日平均値が <math>0.04\text{ppm}</math> から <math>0.06\text{ppm}</math> のゾーン内又はそれ以下であること」であり、環境基準が達成されているかどうかの評価方法については、「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」(昭和53年環大企第262号)において、「1日平均値の年間98%値が <math>0.06\text{ppm}</math> 以下の場合には環境基準が達成され、<math>0.06\text{ppm}</math> を超える場合は環境基準が達成されていないものと評価する。」と示されています。</p>

### 3. 水環境

意見の概要		事業者の見解
6	温暖化で海水温が上昇してきていることから、温排水の放出にあたっては基準の 7℃にこだわらず、できるだけ温度を低下すべきである。	<p>復水器の冷却水については、新 1 号機の設計水温上昇値は既設 1 号機と同様に 7℃で計画していますが、温排水による水温影響を低減するため、温排水量及び水温上昇値について今後さらに検討し、環境影響評価準備書に記載します。</p> <p>なお、新たに設置するガス圧縮機と付帯機器の冷却は、冷却塔による強制通風式冷却方式として、温排水量を増加させない計画です。</p>

### 4. その他

意見の概要		事業者の見解																															
7	大気汚染物質をはじめ、温室効果ガス(二酸化炭素)・温排水の排出量等の基礎データは、環境配慮計画書ないし環境影響評価方法書の段階で公表すべきであった。	<p>大気汚染物質の排出量は方法書 p2-16 (p17)、温排水(復水器冷却水量)の排水量は同 p2-17 (p18) に記載しています。(下表に抜粋します。)</p> <p>温室効果ガス(二酸化炭素)については、発電設備の詳細な諸元を確定後、環境影響評価準備書に記載します。</p> <table border="1" data-bbox="826 1279 1402 1700"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>単位</th> <th>新 1 号機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">硫 黄 酸化物</td> <td>排出濃度</td> <td>ppm</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>m<sup>3</sup><sub>N</sub>/h</td> <td>8.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">窒 素 酸化物</td> <td>排出濃度</td> <td>ppm</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>m<sup>3</sup><sub>N</sub>/h</td> <td>24.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ば い じ ん</td> <td>排出濃度</td> <td>mg/ m<sup>3</sup><sub>N</sub></td> <td>0.1 未満</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>kg/h</td> <td>0.1 未満</td> </tr> <tr> <td colspan="2">温排水量 (復水器冷却水量)</td> <td>m<sup>3</sup>/s</td> <td>6.1</td> </tr> </tbody> </table>			項目		単位	新 1 号機	硫 黄 酸化物	排出濃度	ppm	6	排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	8.8	窒 素 酸化物	排出濃度	ppm	10	排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	24.7	ば い じ ん	排出濃度	mg/ m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.1 未満	排出量	kg/h	0.1 未満	温排水量 (復水器冷却水量)		m <sup>3</sup> /s	6.1
項目		単位	新 1 号機																														
硫 黄 酸化物	排出濃度	ppm	6																														
	排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	8.8																														
窒 素 酸化物	排出濃度	ppm	10																														
	排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	24.7																														
ば い じ ん	排出濃度	mg/ m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.1 未満																														
	排出量	kg/h	0.1 未満																														
温排水量 (復水器冷却水量)		m <sup>3</sup> /s	6.1																														